

会社	会社名	日産車体株式会社		
概要	従業員数	1861名	業種	輸送用機器製造

## 1. ねらい

2015年度より中期経営計画に「ダイバーシティ」を取り入れ、重要課題として全社活動として取り組んでいる。当社のありたい姿を定め、結婚や出産、育児・介護などのそれぞれのライフステージに応じて多様な働き方を実現し、キャリアを積み重ねられる環境をつくっていく。

### <当社のありたい姿>

ライフステージに応じてフレキシブルに働けるワークライフバランスの適正化を実現し、男性も女性も働く人全てが、その能力を十分に発揮できる会社となる。

## 2. 施策内容

・2016年度のダイバーシティ活動に「働き方改革」として、下記の2つに取り組んでいる。

- ① 仕事と育児・介護との両立支援
  - ・【育児】働いていることにより相談者や情報が得づらい従業員同士のネットワークミーティングの開催
  - ・【育児・介護】在宅勤務制度導入に向けての諸準備、冊子・WEBサイト等による情報提供など
- ② 長時間労働の削減
  - ・各部門における長時間労働の削減に対するアクションプランの策定
  - ・帰宅を促す館内アナウンスの実施など（定時前、定時後 1時間毎）

・昨年度までの取り組みを含めたその他の活動内容

- ① 管理・監督者を対象としたダイバーシティへの理解促進のための研修会を実施。  
合わせて社内の育児・介護制度を改めて紹介し、理解を促進。
- ② 一般従業員を対象にした中期経営計画の進捗報告での長時間労働の削減に関するメッセージの発信。
- ③ 育児や介護にも利用可能な休暇の新設。
- ④ 全社員を対象にしたダイバーシティ・アンケートの実施。
- ⑤ 社内報・社内イントラを通じ、子育て中の共働き社員のワークスタイルを紹介。
- ⑥ 各部署において年休取得促進日を定め、計画的に年休が取りやすい環境づくり。

## 3. 取組実績・効果

- ・2015年度に初めて実施した全社員対象の「ダイバーシティ・アンケート」結果では、中期経営計画の管理目標としていた『ダイバーシティに対する認知度』の目標72%に対し86%（達成率119%）。
- ・企業風土として、『育児・介護制度の利用者に対しての周囲の協力』には、93%の従業員が「気兼ねなく協力する」と回答した。
- ・年次有給休暇取得率 14.49日（対前年比102%）
- ・休暇を新設したことにより、育児をしている女性から特に、学校行事にも使えるようになり、年休も残り少なかったのが大変助かっている、という声が上がっている。